

古賀みらいオータムミーティング

～古賀市の未来のまちづくりを考える市民対話集会2～

報告書



主催：古賀市自治基本条例(仮称)策定委員会

開催：平成28年10月23日

目次

1. 古賀みらいオータムミーティングについて	… 1
2. 開催状況	… 2
(1) 主催	… 2
(2) 実施日時・会場・参加者数	… 2
(3) ミーティング概要	… 2
(4) 参加者について	… 3
(5) 当日の様子	… 4
3. 自由会議	… 1 2
(1) 自由会議で話し合われたテーマ	… 1 2
(2) 自由会議でまとめられた模造紙（抜粋）	… 1 3
(3) プチワールドカフェ・自由会議で書かれた クラフト紙（抜粋）	… 1 5
4. 参加者の感想	… 1 7
(1) 感想カードより	… 1 7
(2) 感想	… 1 8
5. まとめ	… 2 4
参考	… 2 5
周知チラシ	… 2 5
当日使用したパワーポイント資料	… 2 7

1. 古賀みらいオータムミーティングについて

私たち策定委員会は、平成27年1月に市長から委員として委嘱されてから、これまで長い時間をかけて古賀市まちづくり基本条例の検討を行ってきました。

策定委員会では、年齢、性別、地域、まちづくりに関わってきた経験などが異なる多様な委員が、同じ市民の立場で「古賀のまちづくりの基本的考え方とは？」というシンプルだからこそ難しい内容に取り組んできました。

私たちは、この条例を検討するにあたっては、検討開始の初期において、小学校区単位で実施した古賀みらいサマーミーティングを開催するなど、できる限り多くの市民意見に耳を傾け、条例づくりを行ってきました。

9月21日に開催された第19回策定委員会において、古賀市まちづくり基本条例（策定委員会案）の内容がかたまりました。

この条例はまちづくりの基本的考え方を示すことから、これまで古賀市自治基本条例（仮称）としていた条例の名称を委員会で案を出し合い、投票により「古賀市まちづくり基本条例」とすることにしました。

私たちは、前文のなかで「心豊かな子どもたちが育つ、安全で安心して暮らせるまちをつくり、未来に残していくためには、議会、行政はもとより、市民一人ひとりがまちづくりの担い手として、これまで以上に人や地域の結びつきを強め、信頼関係を構築し、お互いに協力し合いながら、前向きに取り組んでいくことが不可欠です。」という考え方を示しました。また、共働きの推進においては、「市民等、議会、行政は相互連携がまちづくりの新たな展開と発展を生むことに鑑み、対話と交流の機会や場の提供に努める。」としています。

市民一人ひとりがまちづくりの担い手となり、お互いに協力しながらまちづくりに取り組むことは、今後のまちづくりに大変重要であると考えています。

これらの考え方を踏まえて、古賀みらいオータムミーティングにおいては、条例案の具体的な説明というスタイルではなく、「世代をつなぐまちづくり」をテーマに自由にまちの未来を語り、市民の新しい出会いや交流を促進し、まちづくり基本条例の基本的考え方を策定委員会が実践し、伝える場として開催しました。

また同時に、今回の古賀みらいオータムミーティングは、当日の話し合いのなかで参加者から出された意見などから私たち策定委員が実際に感じたことが、まちづくり基本条例（策定委員会案）に盛り込まれているかを確認する場としても開催しました。

2. 開催状況

(1) 主催 古賀市自治基本条例（仮称）策定委員会

(2) 実施日時・会場・参加者数

日時：平成28年10月23日（日）13:30～16:30

会場：リーパスプラザこが 交流館 多目的ホール

参加者数：81人

(3) ミーティング概要

○開会のことば

趣旨説明

○まちづくり基本条例について（条例、策定委員会の概要説明）

○プチワールドカフェ

テーマ：「あらゆる立場の人たちが、古賀市でもっと楽しく幸せに暮らしていくために、
どんな工夫をしていけばよいでしょうか」

○自由会議

プチワールドカフェで出された意見を元に、更に話し合いたいテーマを参加者自ら
出し合い、各自好きなテーマに分かれて参加者同士で話し合い

○発表

自由会議で話し合ったテーマ、目指したい未来像、私たちがやれること・やりたいこと

○閉会のことば

12月頃実施予定のパブリックコメントの案内



(4) 参加者について

○性別 (人)

性別	人数
男	49
女	32

○年代別 (人)

年代	人数
10代 (中学・高校生)	24
20代	3
30代	3
40代	6
50代	11
60代	23
70代	11

○参加のきっかけ (人)

きっかけ	人数
自治会等から勧誘 (自治会長等含む)	21
委員から勧誘	4
広報、回覧、市HPを見て	8
学校から勧誘	24
策定委員	19
その他	5

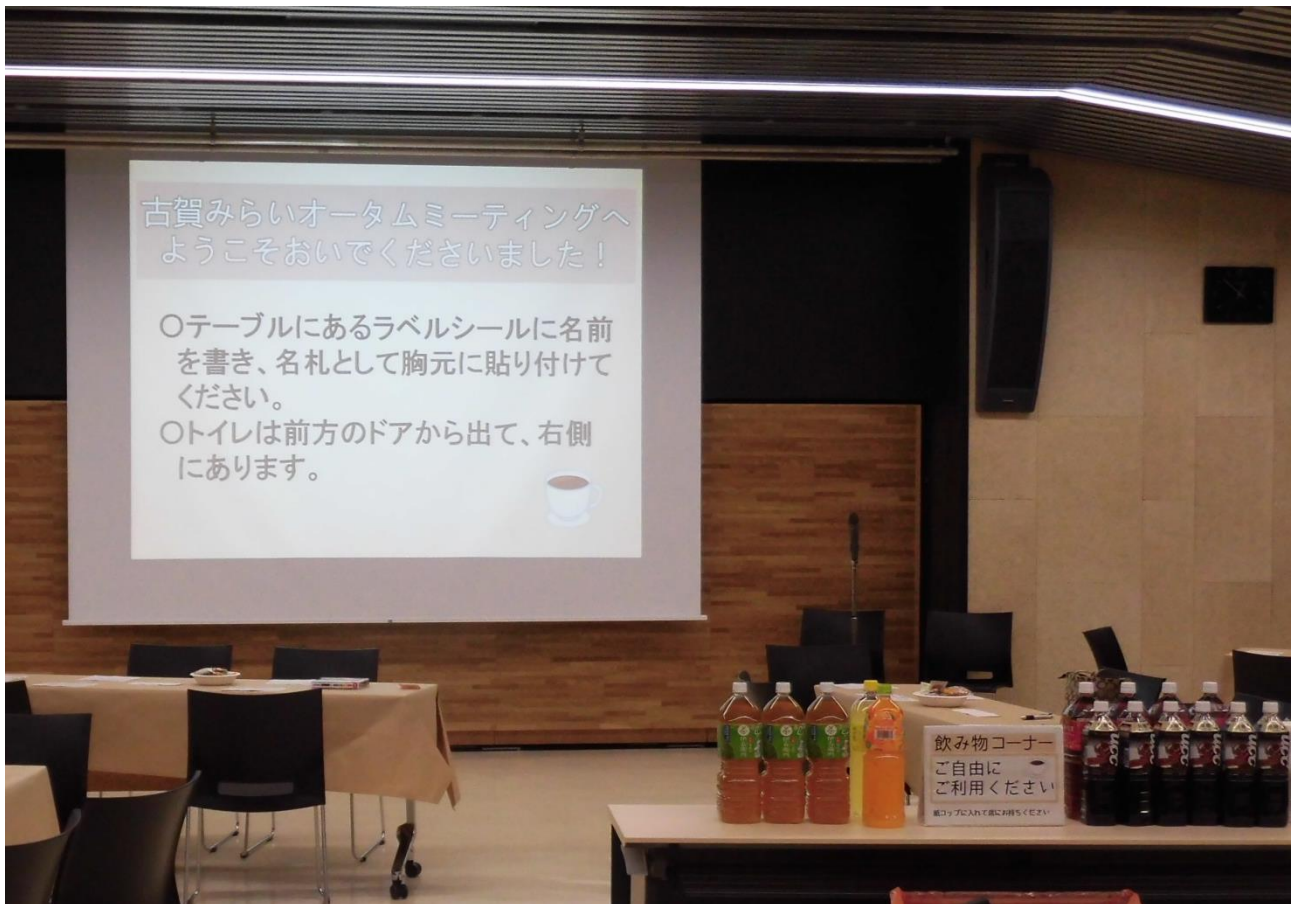
○小学校区別 (人)

小学校区等	人数
古賀東小	14
古賀西小	9
青柳小	9
小野小	10
花鶴小	7
千鳥小	9
舞の里小	7
花見小	7
市外	9

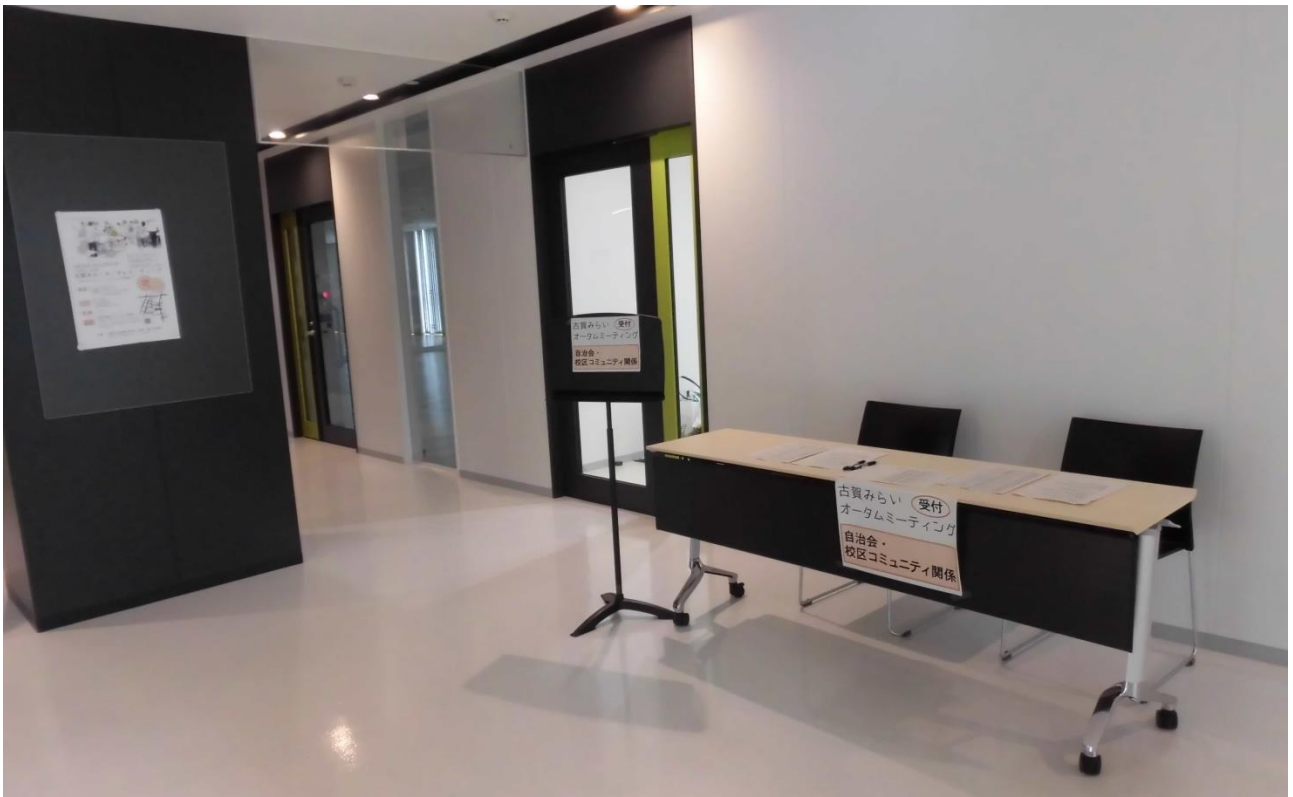


(5) 当日の様子

○会場設営



○受付



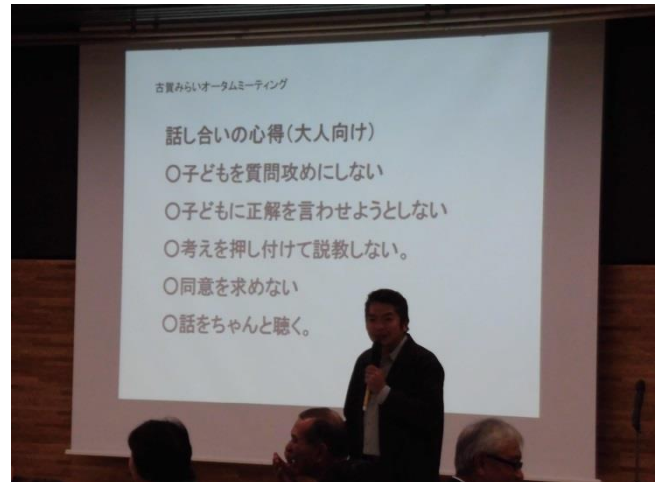
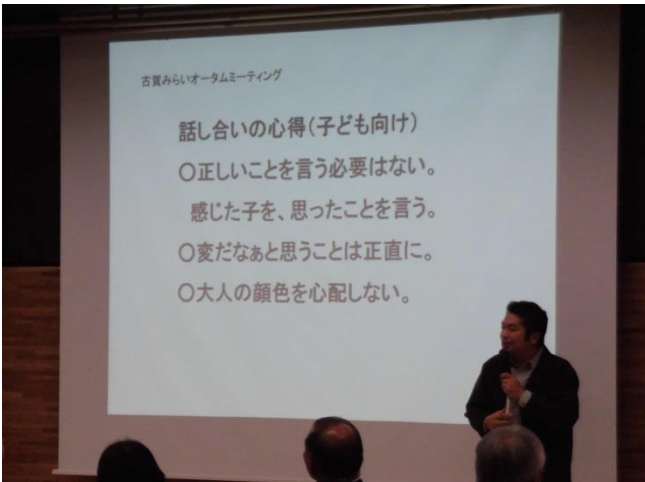
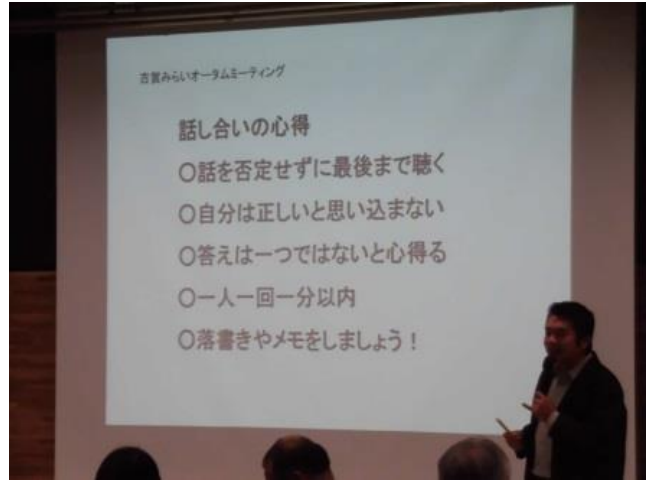
○開会のことば（古賀市自治基本条例（仮称）策定委員会副会長）



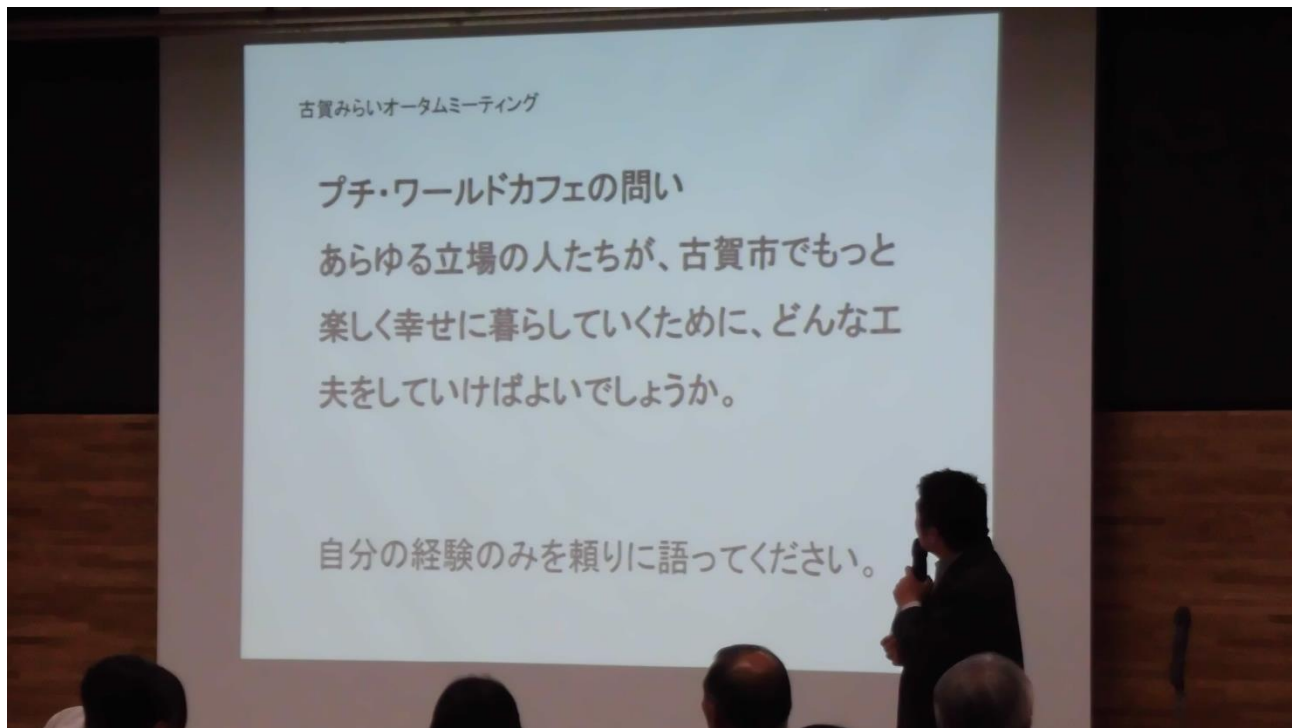
○まちづくり基本条例について（策定委員）



○ファシリテーター紹介及び対話のルール確認



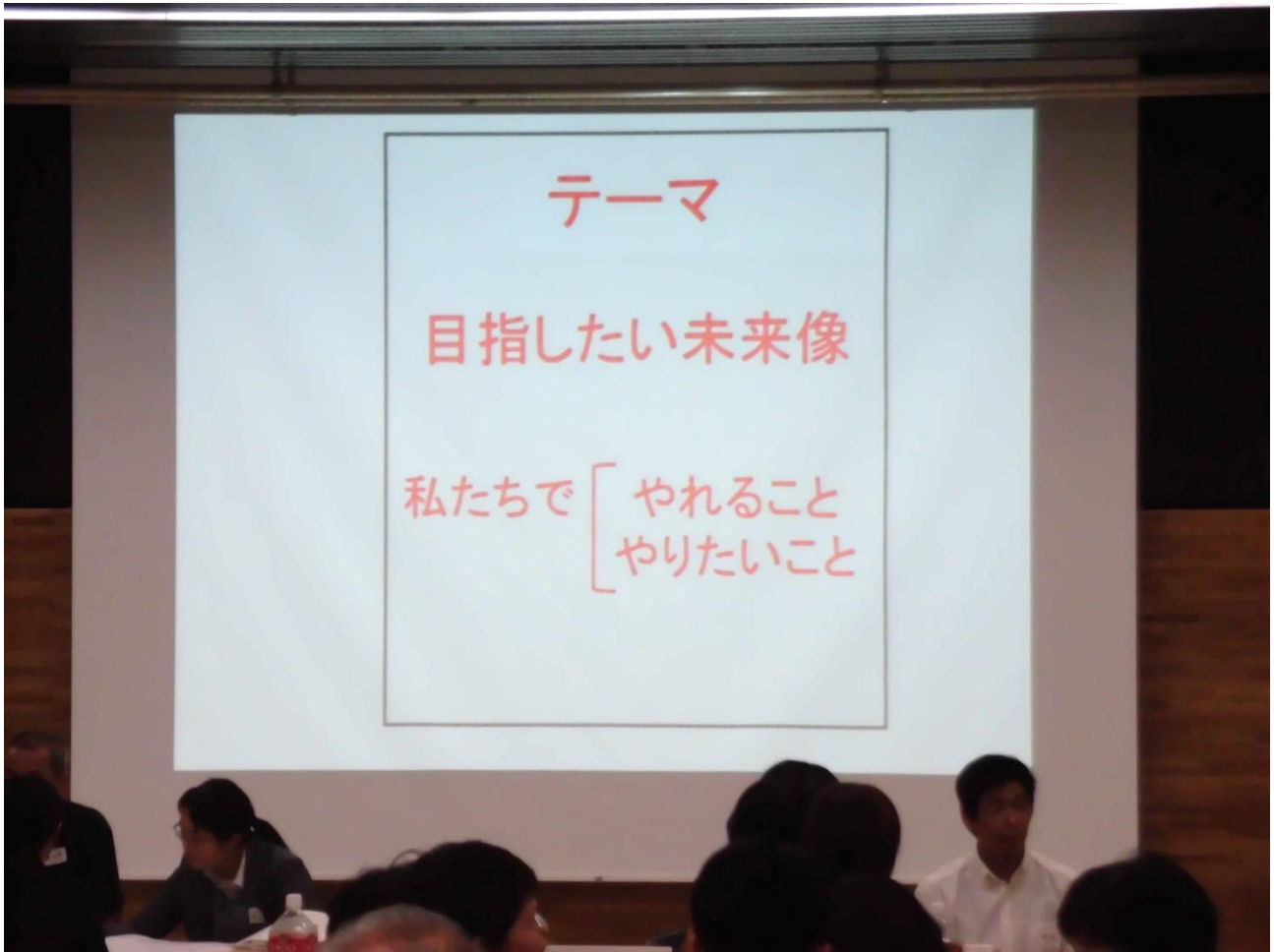
○プチ・ワールドカフェ



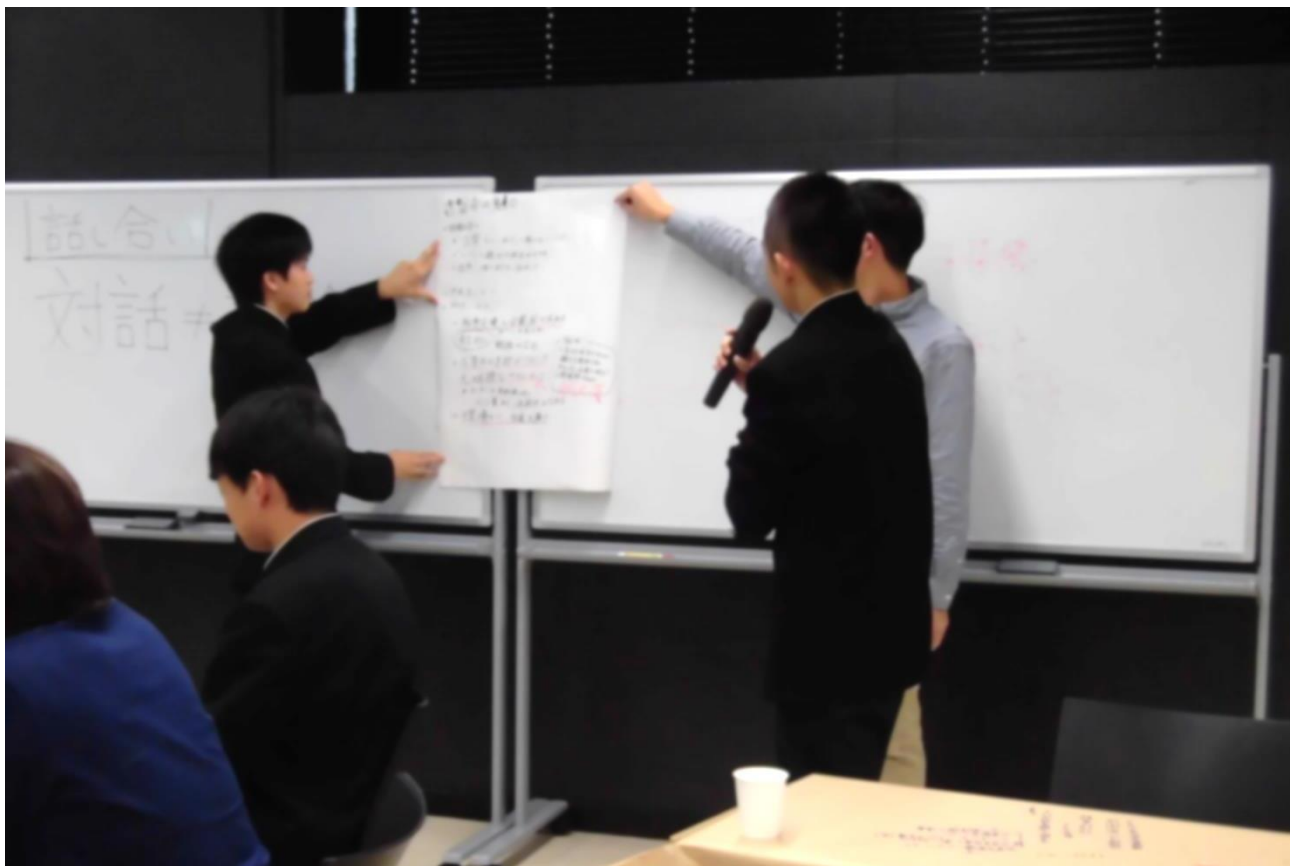


○自由会議





○発表





○閉会のことば（古賀市自治基本条例（仮称）策定委員会副会長）



3. 自由会議

(1) 自由会議で話し合われたテーマ

- ◇地域の活性化を実現するもの→まちや地域の誇りを作る
- ◇人と人とのつながり
- ◇学校と地域のコミュニティ
- ◇学園都市を目指そう
- ◇古賀市の魅力
- ◇区長経験から個人情報保護の行き過ぎを考える
- ◇近所つきあい〔あいさつ〕
- ◇障がい者の目線から
- ◇20年後に向けて古賀市の方向性（老後に住みたい町）
- ◇道路交通網の整備
- ◇子どもの居場所づくり、使い方
- ◇公共交通について
- ◇イベント
- ◇環境
- ◇育成会役員を強制してはいけない

※当日は参加者の皆さんから49のテーマが出されましたが、参加者同士でテーマを統合するなどして集約し、上記15テーマが話し合われました。



(2) 自由会議でまとめられた模造紙 (抜粋)

地域の活性化を実現する
→ まちや地域の誇りを作る

- 住民のための自治会・育成会に...
(自治会のための住民になっていなか)
- 自治会に入らなくていいから...
要因があるのでは。

例) 自治会での役割が果たせなから脱退
2. 自治会のPRや広報とかが足りない。
3. 自治会への壁が厚すぎる。
(知られていない)

例) ラジカセ
・ ことにも差を
見せられる大人は
・ 先輩の差を見て
後輩は育つ
・ 見られていない自分
自覚すると変わる

- 自分たちでできることを採る姿勢
- 問題を発見する努力
- 解決に向けて動く努力
- それができる制度とかルールとか
- 時代に合わせ

必がつの組織にはいらない (老人会とか)

人と人とのつながり

未来像

- いろいろな人と関わりやすい環境 → 近所付き合い
(外国人から高齢者)
- 自然が豊かな古賀市。 → 住みやすいまち

私たちがやりたい事、やれる事

- 高齢者や障害者のためのボランティヤ
タクシー。
- 外国人の力も参加できるハロウィン
(祭りなど)
- 古賀市に住んでいる人全員でスナック活動

学校と地域の

コミュニティ

つぎ合いのほじまりー子どちのつなが"り"

☆やりたいこと☆

・高校・中学・小学校・地域で"つな"が"り"たい

つな"が"る場所を作る

古賀高校生サミット

高校生運営の力

(地域の人が協力して) (駅前商店街)

中学生にも伝える

学園都市を目指そう!

1. 歩いていける公共の場を作ろう。

① 小学校の空き教室の活用

1. 住居から遠くない。

2. 避難訓練にもなる (人ごみガバリ)

② 小学校の使用例

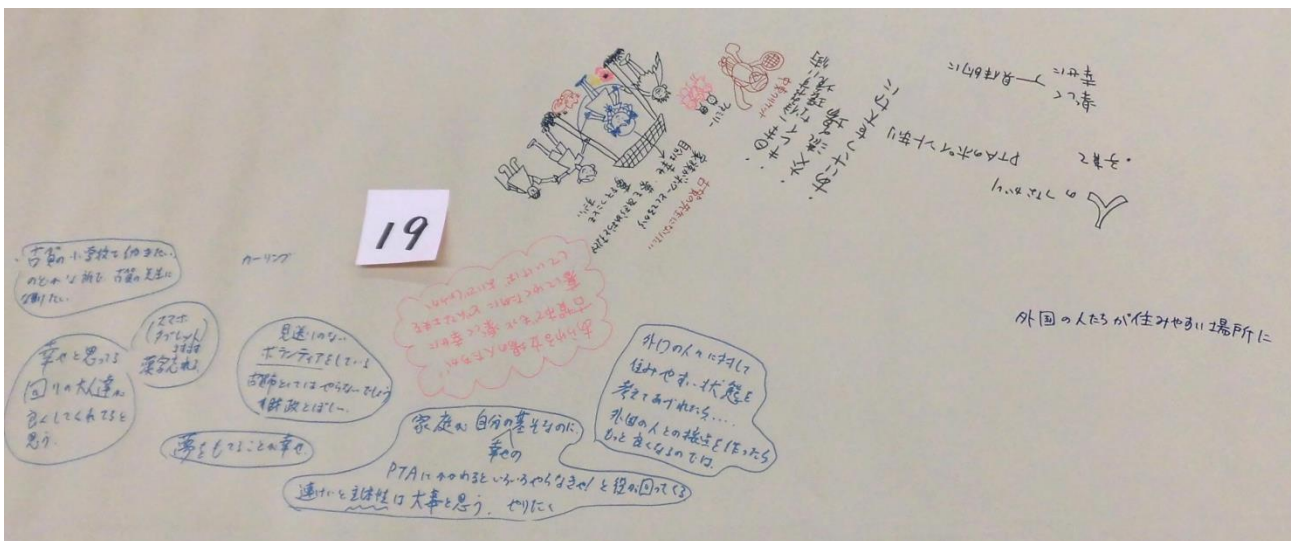
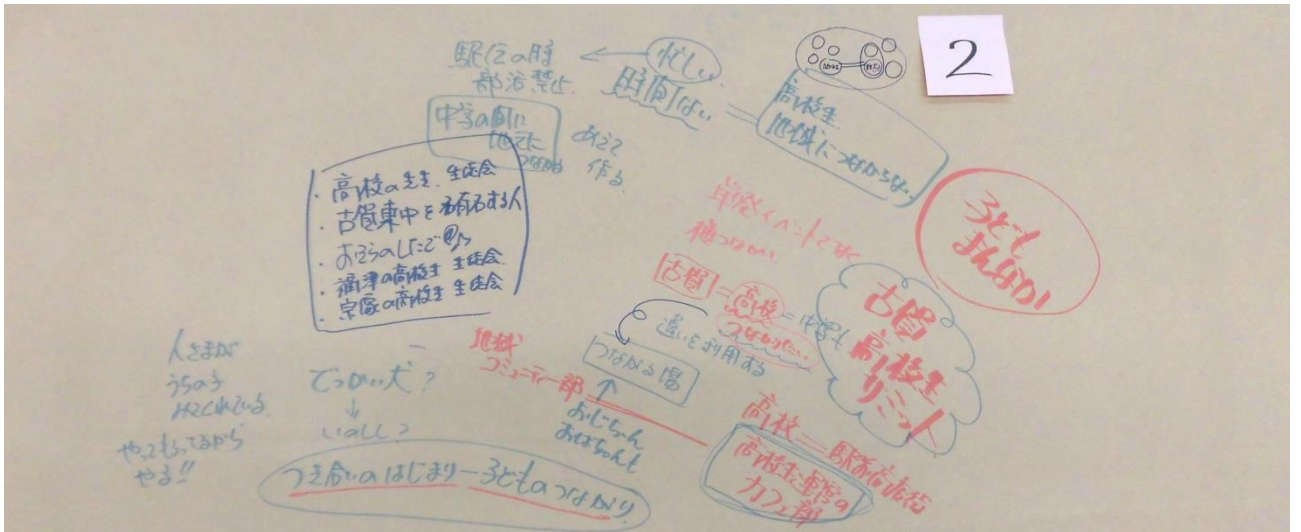
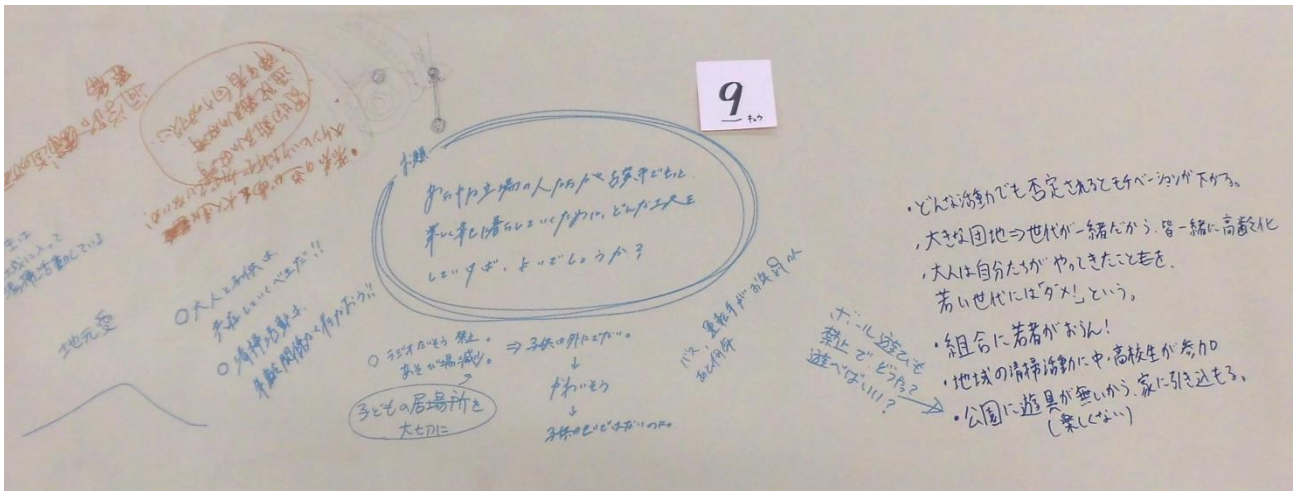
1. お店を作る (地域の人も利用できる)

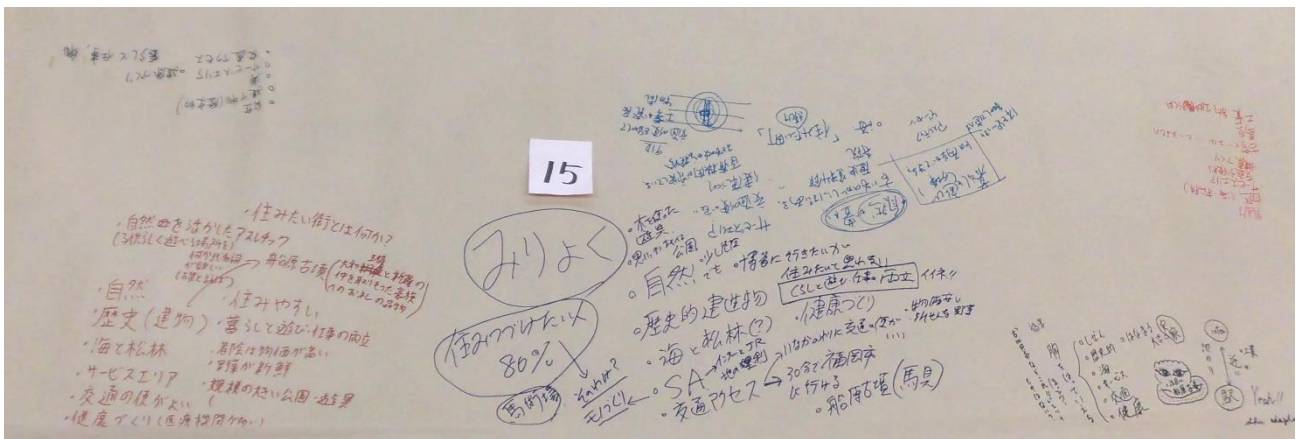
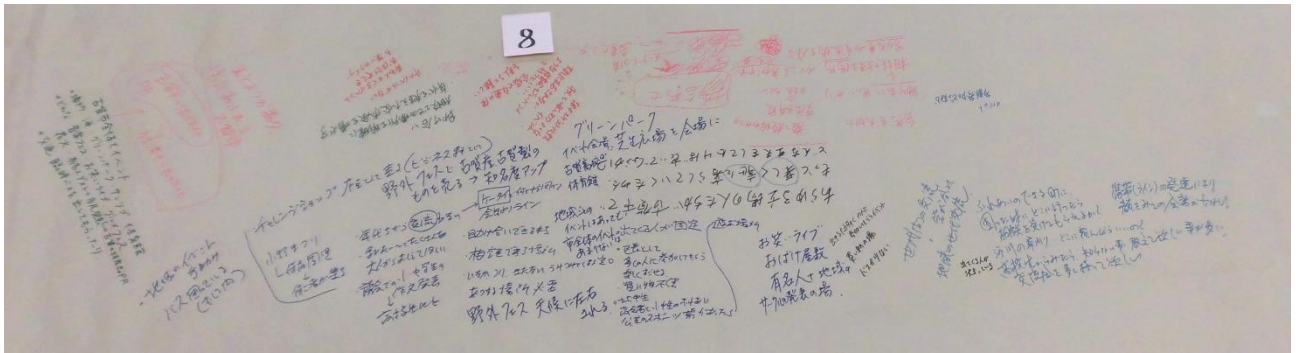
2. 交流の場として 食事もできる (世代交流)

3. 学習の場として 大学・医療機関の
講義等

4. わかしあそびを教えたりする。

(3) ミニワールドカフェ・自由会議でクラフト紙に書かれたもの（抜粋）





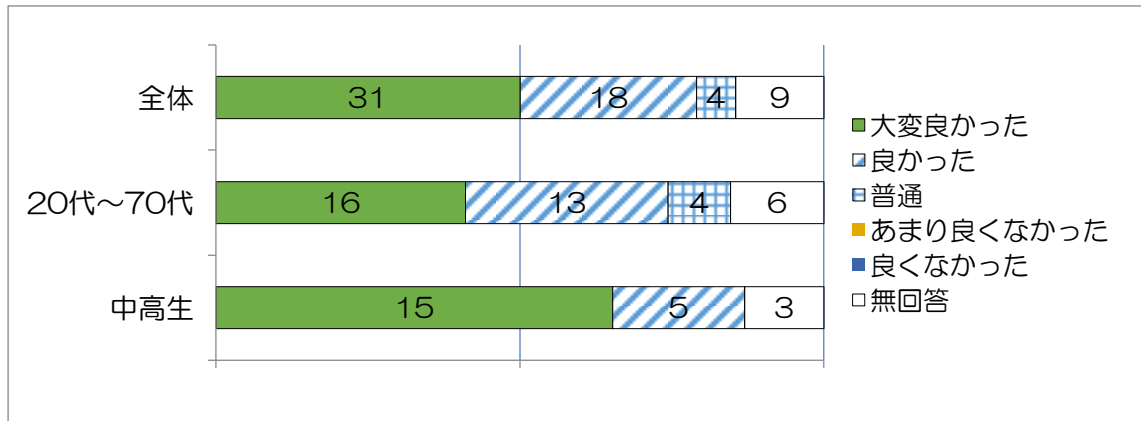
4. 参加者の感想

(1) 感想カードより

○提出者：62人（中高生（※中学生・高校生）：23人、20代～70代：39人）

○参加してみてどう感じたか：

「あまり良くなかった」「良くなかった」と回答した者は0人であり、「大変良かった」との意見が大半でした。



○感想（まとめ）

様々な年代や違う地域の人と交流することで新たな気付きがあると言った意見が多く寄せられました。また、このような交流の場をもっと設けて欲しい、という意見も寄せられており、古賀市まちづくり基本条例素案（案）の「市民等、議会及び行政は、相互連携がまちづくりの新たな展開と発展を生むことに鑑み、対話と交流の機会や場の提供に努める。」という条文の重要性を再認識できました。

【中高生】（抜粋）

- ・ 普段関わる機会のない様々な年代や違う学校の人と話すことができ、楽しめた。また有意義であった。このような交流の場は大切だと思う。
- ・ 大人が自分の意見に耳を傾けてくれて嬉しかった。
- ・ 古賀市の良いところやもっとこうしたい方が良いと思うところ、これからの古賀市をつくっていくために大切なことを学べた。
- ・ 未来を背負っていくのは今の子どもたちである。もっと地域のことを知り、考えて行きたい。
- ・ 古賀市がもっと発展して、すばらしい町になってほしい。
- ・ 公園や思いっきり遊べる場所を作ってほしい。

【20代～70代】（抜粋）

- ・ 普段関わる機会のない様々な年代や違う地域の人と話すことができ、楽しめた。また有意義であった。
- ・ あらゆる人々が幸せになるには、あらゆる人々が出会い、つながることが必要。
- ・ 中学生や高校生と意見交換ができ、貴重な時間を過ごせて良かった。彼らがしっかりとした意見を持っていることがよく分かった。

- ・古賀市のことを考える人がこんなにもいることに感激した。
- ・プロのファシリテーションの下、楽しく思いのまま発言できた。中高生がちゃんと意見を言える場となっており、大人も意見を聞いていて良かった。
- ・このような機会を今後も設けて欲しい。
- ・具体的なテーマが多かったので、テーマのターゲットを絞る必要もあったと思う。
- ・自分でやれることを積極的に実行していきたい。
- ・まちづくりは市民の声を反映し、対話の上、古賀市に必要なものを作って欲しい。
- ・「水道料金 30%の値下げ」を実行して欲しい。市としての開発計画、道路整備計画を市民に周知し、見直しを行うなどの機会を設けて欲しい。
- ・今日の意見が行政に取り入れられて反映されることを望む。
- ・出される意見が要望中心であり、自分が何をできるのか、ということが少ないように感じた。

【策定委員】（抜粋）

- ・今まで出なかった新たな意見、考えに触れることができ、改めて考えさせられた。
- ・中高生からも意見を聞くことができ、普段の生活では気付かないことについて聞いた。
- ・まずは私たち大人が変わらなければならないと感じた。意識の転換が必要。

（２）感想

（評価 1:大変良かった、2:良かった、3:普通、4:あまり良くなかった、5:良くなかった、0:無回答）

	年代	評価	感想
1	中高生	1	本日は、初めて古賀の地域の幅広い年代の方々と話すことができとても楽しく感じました。地域の人たちと話す中で古賀市のいいところや、逆にここはこうすればいいんじゃないかなどができました。自分の班では、子どもたちがおもいっきり遊ぶ所がほしい（野球など）というのができました。よろしくお願ひします。
2	中高生	1	古賀について考える機会があってよかったと思います。古賀に対する、いろいろな考え方を学ぶことができました。未来を背負っていく人々は、今の小・中学生、高校生なので、もっと地域のことについて知っていきたいと思います。本当にいい機会でした。
3	中高生	2	僕が想像していたのと少し違っていたが、おもしろかったです。
4	中高生	2	古賀をつくっていくために大切なことを学ぶことができました。 ・高齢者との関わり ・道路のせいび
5	中高生	2	古賀市のことについて、さまざまな年代の人々に意見を聞くことができました。これからの古賀市については、僕の住んでいる小山田には毎年あっている駅伝が人数が少なく、毎年出場していないので、古賀市の方々の交流を増やしたいし、運動が好きなので隣の谷山と合同でしたりして、小山田も出場したいので、来年から駅伝に出場できるようになったら、うれしいです。
6	中高生	1	色々なことについて、みんなで話し合うことができ、とても楽しかった。公園や遊べる場所を作って欲しい。

	年代	評価	感想
7	中高生	1	僕たちの班では、古賀市の活性化のために「イベント」が必要だと思い、イベントについて話し合いました。しかし、イベントをするには人も場所も必要で難しいことが多いという意見がでました。もっとよりよい古賀市をつくっていくためには、たくさん考えることがあるということが、この古賀みらいオータムミーティングでわかりました。古賀のみらいを考える機会があるのはとてもいいことだと思いました。
8	中高生	1	今回、オータムミーティングをして、古賀市をよりよくするための話し合いができて、とても良かったです。なかなか市民の年のはなれた方と話す機会がないので、古賀市のことについて話す機会をもっと増やしていったほうがいいと思いました。また、学校でもこんな話し合いをしたら、古賀市のことを知れていいと思いました。
9	中高生	1	いろんな年代の方たちと「今の古賀に必要なこと」について対話でき、とても有意義な時間でした。いままで自分の内に秘めていたことをこの場でぶちまけさせてありがとうございます（笑）。学校でも同じような話し合いができれば、これからの古賀の未来が大きく変えられると思いました。
10	中高生	1	今日、自分の住んでる町について考えてみて、もっとこうの方がいいなという思いがたくさんでできました。そして、古賀の魅力について深く考えることができました。これからは、もっと古賀について考え、よりよい生活となるようにしていきたいです。
11	中高生	0	日ごろなかなか、かかわることのできない年代の方と話し合えることができて、とても楽しい経験ができました。今回の古賀みらいオータムミーティングを通して、違う年代の人でも同じことを思っているんだと感じました。また機会があれば、ぜひ参加したいです。
12	中高生	2	普段、話し合いをする機会がまったくない方々と、古賀市の現状や未来について話し合いができたことは、自分にとって、とても良い経験になったと思います。自分と違う年齢層の方は、自分と違う意見や経験があり、とても勉強になったと思うし、また、機会があれば、話し合いをしてみたいと思いました。
13	中高生	1	今日をとおして、改めて子どもの自由に使える場所などについて考えることができてよかったです。年齢や学校がちがう人とも交流することができてよかったです。このような交流する場は大切だなと思います。
14	中高生	0	年代の違う方々と話し合う機会などなかなかないので、貴重な体験ができてよかったです。古賀競成館生として、まちづくりについてこれからも考えていきたいと思います。
15	中高生	1	普段、経験できないようなことができてよかったです。たくさんの人と話して、たくさん意見を聞くことができてよかったです。

	年代	評価	感想
16	中高生	1	たくさんの意見を聞くことができとてもおもしろかった。今回のことを機に、古賀市がもっと発展して、すばらしい町になってほしいです。
17	中高生	1	自分は古賀市民ではないけど、古賀を自分の住んでいる町のように考えた。大人の人が自分の話に耳をかたむけて下さったのがうれしかった。
18	中高生	1	今回私が参加させてもらったグループの議題は、育成会の強制参加についてでした。とても面白く、私の母がしていたので、身近に意見を聞くことができ、良かったです。古賀市がもっと良くなるといいなと思います。
19	中高生	0	市長さんオブジェは市民にとってじゃまみたいですよ。ぜひぜひ無くして下さい。
20	中高生	1	はじめはとても不安でしたが、話していくうちにだんだん古賀市のことが分かることができました。いろいろな年代の方と、いろいろな話が聞けたのでなるほどと思いました。これからの古賀市の未来のために、やるべきことがたくさんあると思うので、今日話し合ったことを、ぜひ実現して行ってほしいです。
21	中高生	1	年代が違う人と対話する機会って、普通に生活していてもあんまりないので、最初はぎこちなかったけど、楽しく終わることができてよかった。
22	中高生	1	—
23	中高生	2	—
24	20歳代	3	話についていけるのか、とても不安でしたが、様々な年代、立場の人々と話し合うことが出来て良かったです。大変貴重な機会だったと感じました。ただ、班によっては無言のまま時間が過ぎてしまったり、世間話で時間が終わってしまったりという点があったので、それ（班の組み方）は改善していくべき点だと思います。
25	20歳代	2	今回のオータムミーティングでは、今まで意見を聞く機会が無かった中学生からも意見を聞くことができた。古賀は遊ぶ場所が少ないとか通学路で道が悪い所があるとか、普段の生活の中では気付かない事が聞けた。古賀は暮らしやすいと言われる一方、山側に住んでいると買い物不便だったり車が無いと生活しづらかったりする。また、市民全体が参加できるイベントがあればいいという意見で話し合い、それで、特産品等をPRすればもっと活気ある、経済面も活性化して良いと思う。
26	20歳代	1	具体的な意見をもらえて、納得するところがたくさんあった。古賀市の明るい未来を信じたいです。
27	30歳代	1	色んな立場の方々と古賀の未来の可能性について話ができとてもたのしかったです。

	年代	評価	感想
28	30 歳代	1	中・高校生がちゃんと意見を言える場で良かった。大人がちゃんと中・高校生の意見を聞いてくれて良かった。中・高校生もしっかり意見を持っていることがわかった。大人は子どもの行動を制限しすぎてはいないか？
29	40 歳代	1	幅広く参加者の方と意見交換できて有意義でした。まちづくりはぜひ市民の声を反映して頂きたいと思います。豊かな自然を活かしたまちづくりは大変意味深く思います。西鉄跡地の開発は市民の声を反映して対話のうえ、古賀市に必要なものを作って頂きたいと思います。
30	40 歳代	1	皆さん、色々な考えがありましたが、基本は、古賀を良くしたい！！という思いからだと思います。近くに居る人達が、楽しく笑って暮らせる事！買物難民が出ない事、1人暮らしでも淋しくない事！困った時に誰かに言えるコト、年齢が違う人たちが交流できるコト！です。ありがとうございました。
31	40 歳代	2	たくさんの初めて会う方とお話が出来てとても楽しかったです。私が個人的に知りたかったことも聞くことができたので、非常に実りある出席となりました。お招き頂き、感謝です。
32	40 歳代	0	全体的に良かったと思いますが、最後の各グループの発表にも現れていたように、具体的なテーマが多かったので、テーマのターゲットを絞る必要もあったのかと思いました。
33	40 歳代	2	10代の子どもの様子や考えが分かってよかった。まずは私達大人が変わらなければ未来はないと感じました。意識の転換が必要だと思いました。今日は、ありがとうございました。
34	40 歳代	2	今まで策定委員会では出なかった新たな意見、考えに触れる事が出来て、改めて考えさせられました。
35	40 歳代	1	中学生の子どもたちの意見が、とてもしっかりしておどろきました。夫婦、家族、地域、さまざまなキーワードがあったなーと。
36	50 歳代	2	中学生、高校生の参加で、意見が聞けて良かったです。
37	50 歳代	2	今日初めてお会いする方ばかりでしたが、同じ古賀に住んでいるというつながりで話がもり上がりました。この先も、古賀が増々好きになりそうな気がします。（前向きな方ばかりでしたので！）日曜日の半日なので、どうかなーと思っていましたが、参加できて良かったです。
38	50 歳代	1	中学生のいろんな意見が聞けて貴重な時間を過ごすことができました。最初は3時間も何を話すのかと不安もありましたが、とても楽しく意見交換ができました。
39	50 歳代	2	プチ・ワールドカフェの時間までしか参加出来なくて残念でした。短い間でしたが良かったです。大変申し訳ありませんでした。

	年代	評価	感想
40	50 歳代	2	今回は久しぶりに最初の頃の気持ちに戻った気がして、楽しく話し合えました。特に中・高生の意見を聞いた事も良かったです。私達よりしっかりしているな～と感心しました。大人はもっと頑張らねば。
41	50 歳代	0	良かったこと ・中高生のリアルな意見を聞いたこと ・そこに学びの提供が必要だとわかったこと
42	60 歳代	1	古賀のことを考える方が、こんなに大勢いたんだと感激致しました。自分でやれることを積極的に実行していきたいと思います。
43	60 歳代	2	多様な意見を聞くことができ参考になりました。 古賀市としての開発計画、道路整備計画を市民に周知し、見直しを行うなどの機会を設けてほしい。具体的ビジョンが見えない。
44	60 歳代	2	準備、おつかれさま！まとめはもっと「おつかれさま」になるかもしれないませんが、がんばって下さい。
45	60 歳代	1	中高校生とお話でき、こんなさわやかな若者が古賀にいることに幸せを感じました。あらゆる人々が幸せになるには、あらゆる人々が出会いつながることが必要だと思います。このような機会が今後もたびたびありますように。ありがとうございました。
46	60 歳代	2	自分の考え以外の事が吸収できた。
47	60 歳代	1	初めて会う人と古賀市の未来を語れたことはよかったです。ありがとうございます。とくに中学生、高校生との話は良かったです。彼らの意識の高さに感心しました。策定委員の皆さん、ありがとうございました。
48	60 歳代	2	若い人達の意見が大変面白かった。この世代の人を集め、定期的に会議を開いてみたらどうか。
49	60 歳代	1	さすがにプロの指導で楽しく思いのままに発言できた。1つのテーマで、次から次へと名案がとび出して、笑ったり、うなずいたりして良かった。願わくば今日の発表が行政に取り入れられて、反映される事を望みます。（学園都市を目指そう！！）
50	60 歳代	0	友人に誘われ、何があるのかわからないままに参加しました。いろいろな方の意見が聞けて大変充実した時間を過ごすことができました。特に中・高生の意見が聞いたのが収穫でした。ちゃんと郷土のことを考えていることがわかり未来は明るいと思えました。
51	60 歳代	3	中学生・高校生の考え方は興味深く聞いた。個人主義、特に若い世代には、そのような傾向が強くなっているため、市民のみんなが幸せになる施策の策定は難しいと思われる。
52	60 歳代	1	色々な世代の方と交流出来て良い時間を過ごしました。中学生と話をしたかったかな…。若い力を地域に、ぜひ、お願いします。

	年代	評価	感想
53	60 歳代	0	今回の意見に対する対応をきちんとして欲しい＝パブリック・コメントにも同様
54	60 歳代	0	素晴らしいですね。いろんな意見が出て、まとまって、発表者も力強く、初のワールドカフェ、楽しかったです。
55	60 歳代	1	多くの方々とお話が出来て勉強になりました。この企画は OK！
56	60 歳代	0	若い方（学生さん）がたくさんみえてよかった。ワールドカフェ方式は成功だったと思います。発表した内容はいいものでした。多くの方の意見を聞くことを実施したのはよいことだった。1回ですませてしまうところは残念だが。もう何回かしてほしかった。
57	70 歳代	1	本日の意見を是非実行して欲しい。中村市長の公約「水道料金 30% 値下げ」は？是非とも実行して欲しい。
58	70 歳代	1	自分の考え方の狭さ、問題意識の無さを感じた。色々な意見が聞けてよかった。
59	70 歳代	2	人間って色々考えがあり、大変勉強になった。又、皆様と共有出来ることが素晴らしいと思う。
60	70 歳代	3	ミーティングそのものとはかかとして、12 月には原案が出るのであれば、もっとそれに近い、具体的な内容のミーティングかと思っていました。
61	70 歳代	3	意見が要望中心で個人が何をできるのか少ないように感じた。
62	70 歳代	1	中高生が意見を沢山出して下さってよかった。楽しく話げできました。

5. まとめ

アンケートの結果からもわかるように、非常に満足度の高いイベントなつたとと言えます。その理由として以下のような点が挙げられます。

○幅広い年代が参加し、互いに本音を言い合えた

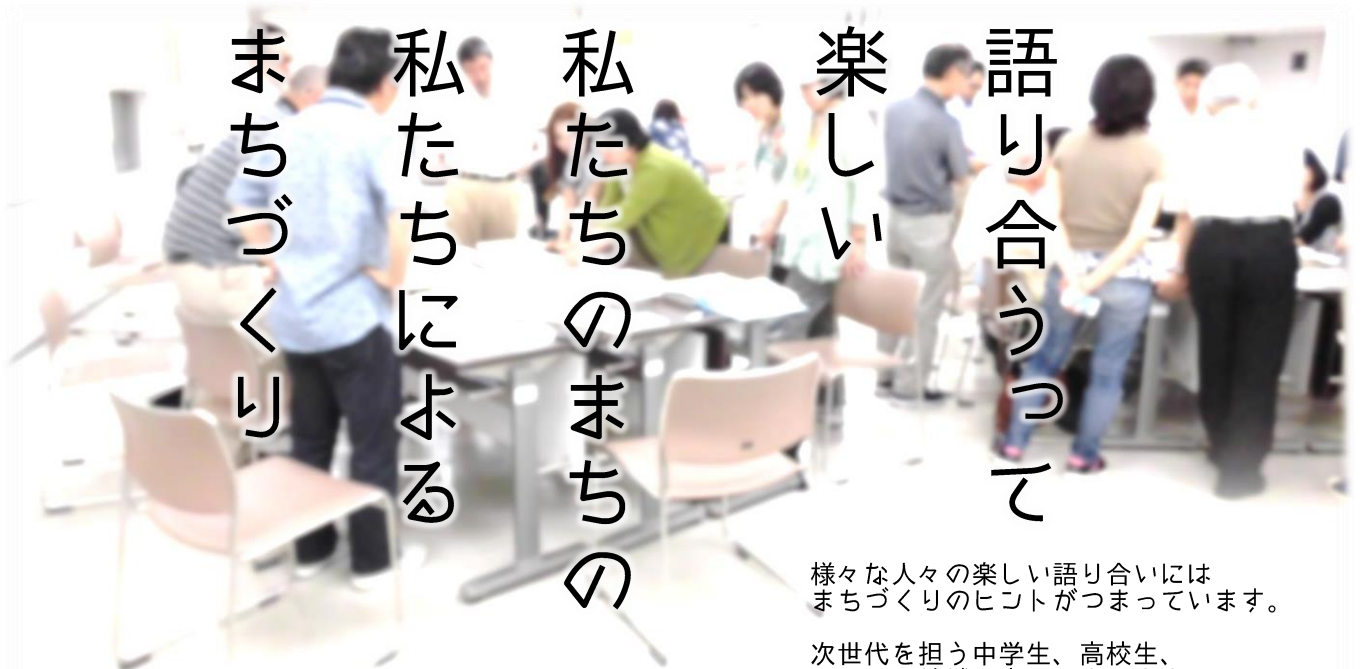
中学生から70代までが参加しましたが、どの年代においても「大変良かった」、「良かった」との評価が多く、満足度が非常に高いものとなりました。中高生にとっては大人に対して意見を述べることができ、それを大人が真摯に受け止めたこと、大人にとっては中高生と話ができ、彼らがしっかりとした意見を持っていることが印象深かつたようでした。

○自らがテーマを設定し、自由な話し合いをすることができた

プチワールドカフェだけではなく、自由会議を行ったことで、参加者自らが話し合うテーマを設定でき、好きなテーマで話し合いができることに対する満足度が高かつたと言えます。

自由会議は最終的に15個のテーマに集約されて話し合いが行われましたが、参加者が当初挙げたテーマは更に多いものでした(49個)。市民自ら課題を見つけ、話し合うテーマを設定し、それに対する答えとして「自分たちでやれること、できることについてまとめる」ことで、市民はまちづくりに対して自ら問いを作り、自ら解決する力を持っていることを知ることもできました。

また、この古賀みらいオータムミーティングにより、市民一人ひとりがまちづくりの担い手として前向きに取り組むことや、「まちづくり基本条例素案(策定委員会案)に盛り込んでいる対話と交流の場」の重要性を改めて感じられました。



まちづくり 私たちのまちの 楽しい語り合っつて

様々な人々の楽しい語り合いには
まちづくりのヒントがつまっています。

次世代を担う中学生、高校生、
これまで地域を支えてきた大人たち。

これからのまちづくりを
3世代で集って考えるまたとない機会です。

平成 28 年 10 月 23 日 (日)
13:30~16:30

古賀みらいオータムミーティング

～古賀市の未来のまちづくりを考える市民対話集会2～

場所

リーパスプラザこが
交流館 多目的ホール
※駐車場：リーパスプラザこが駐車場
古賀市役所駐車場

ファシリテーター

山口 覚氏
LOCAL&DESIGN 代表
津屋崎フランチ代表
NPO 法人地域交流センター理事

定員

100 名

申し込み 問い合わせ

古賀市総務部コミュニティ推進課
電話 092-942-1165
FAX 092-942-1291
Eメール commu@city.koga.fukuoka.jp
※当日申し込み可。詳しくは裏面を参照ください。

参加費
無料

託児有

概ね 1 歳～就学前
申込締切 10/14



主催 古賀市自治基本条例（仮称）策定委員会

事務局 古賀市総務部コミュニティ推進課

古賀みらいオータムミーティング～古賀市の未来のまちづくりを考える市民対話集会2～



古賀みらいオータムミーティング プログラム



- 13:30 はじめに
- 13:45 ワールドカフェ※
テーマ「世代をつなぐまちづくり」
(途中休憩あり)
- 16:15 おわりに
- 16:30 終了

※「ワールドカフェ」とは
カフェのような
リラックスした雰囲気で行う
話し合いのスタイルです。



古賀市では、住民自治に基づく自治体運営の基本原則・理念を定める古賀市自治基本条例（仮称）の制定に向け、市長の附属機関として古賀市自治基本条例（仮称）策定委員会（以下「策定委員会」と言います）を設置しています。策定委員会には現在 20 代～70 代までの市民 25 人が委員として参加しており、平成 27 年 1 月から話し合いを行っています。

この条例はまちづくりの基本的考え方を示すもので、年齢も住んでいる地域も様々な委員が、同じ市民の立場で市民の意見に耳を傾け、できる限り反映しながら検討を進めています。

このオータムミーティングでの未来に向けた語り合いも参考にして、まちづくりの基本的考え方について検討し、平成 28 年 12 月をめどに条例案を市長に提言する予定です。ぜひ会場であなただご意見をお寄せください。

古賀市自治基本条例（仮称）策定委員会

【これまでの検討内容から】

- 自治基本条例（仮称）の目的：
まちづくりの基本的事項を定め、市民等*、議会及び行政がそれぞれの役割を果たし、互いに連携し、住んで良かったといえるまちの実現を図る。
- 自治基本条例（仮称）の基本理念：
市民等、議会及び行政は、次に掲げる基本理念によりまちづくりを推進する。
 - (1)互いに連携し、古賀市民憲章に基づくまちづくりに取り組む。
 - (2)先人が築いてきた地域の歴史、文化、知恵を大切に、次世代に引き継ぐとともに、共に支えあう地域社会の形成に取り組む。
 - (3)市民等、議会及び行政は、互いに自主性及び自律性を尊重しながらそれぞれの責任と役割を果たし、まちづくりに取り組む。

*市民等：ここでは市内に居住・通勤・通学する人、市内に事務所を有する又は市内で活動する法人その他の団体のことを言います。

※この目的や基本理念は現時点での案であり、今後の検討内容を踏まえ、変更することがあります。

○申し込み（事務局 古賀市総務部コミュニティ推進課あて）

FAX 092-942-1291（この面を送信）

Eメール commu@city.koga.fukuoka.jp（以下の内容を本文に記載）

電話 092-942-1165（以下の内容を口頭で）

氏名	男・女	年齢 歳代 (例. 40歳代)
お住まいの行政区（または住所）	電話番号	
託児希望 有 ・ 無（託児申込10月14日まで）※概ね1歳～就学前 ↳ お子様のお名前 _____、年齢 _____ 歳（男・女） ↳ お子様のお名前 _____、年齢 _____ 歳（男・女）		

○個人情報、古賀みらいオータムミーティング開催以外の目的には使用しません。

○希望される人数の託児担当者を確保できない場合はお断りすることがあります。

参考：当日使用したパワーポイント資料

○まちづくり基本条例について（条例、策定委員会の概要説明）【策定委員】



わたしたち、古賀市自治基本条例(仮称)策定委員会とは？

まちづくり基本条例

現在、古賀市自治基本条例(仮称)の素案を検討しています。

仮称となっていた条例の名称を策定委員会で話し合い、「古賀市まちづくり基本条例」に決定しました！

○策定委員は全員市民です。
○20代から70代で、様々な地域から参加しています。
○市は、私たちの素案をもとに検討を行い、古賀市まちづくり基本条例案を作成し、議会上程します。

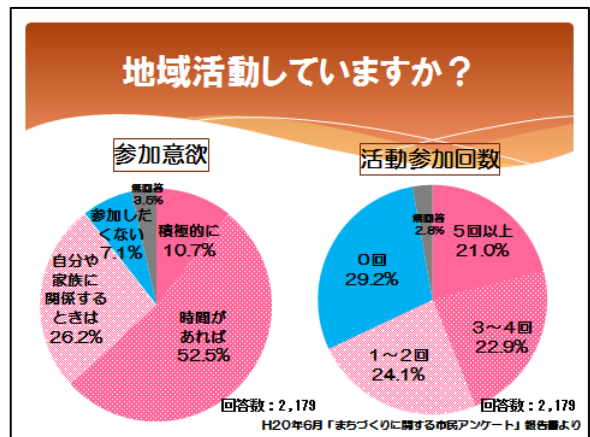
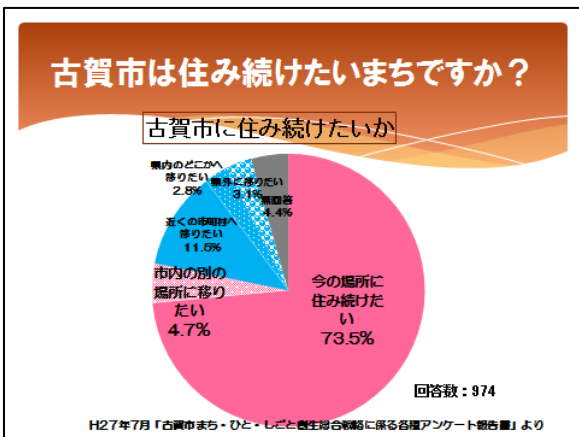
これまでの活動～策定委員会～

平成27年1月から毎月1回話し合いを行っています。

これまでの活動～サマーミーティング～

のべ302名が参加！

平成27年8月～9月にかけて市内の小学校区ごと(全8回)に古賀みらいサマーミーティングを開催しました。



古賀の未来へ備える

今後、想像を超えるスピードで進む高齢化など、地域環境は大きく変わります。

10年後の古賀市民100人中の年代別人口予想

子ども (15歳未満) 14.5人→14.0人	15歳～64歳 62.1人→57.2人
65歳～74歳 13.6人→13.2人	75歳以上 9.8人→15.5人

※H27年とH37年の比較。古賀市高齢者政策推進計画・介護保険事業計画（平成27年～29年度）より

古賀の未来へ備える

いろいろな人や団体間の協力がますます必要になってくるなか、これからの古賀の「まちづくり」に向けて何が必要か・・・

まちづくりとは

「まち」とは
人が関わっている、暮らしている空間全体

「まちづくり」とは、住みよい「まち」をつくるための公益的な活動
～道路やハコモノの整備だけでなく
あいさつ、ゴミだしのマナーも
立派なまちづくり！～

古賀市まちづくり基本条例とは？

まちづくりの基本的な考え方を明らかにするもの

【わたしたちが考える基本的な考え方とは】
～これまでの検討から～

- 市民・議会・行政の役割を明確にして共通認識を持つ
- 市民・議会・行政それぞれが役割を果たし、協力してまちづくりを進めていく
- まちづくりの基本原則を示し、その基本的事項を定める
⇒情報共有・市民参加・共働

わたしたちが考える これからのまちづくりに大切なこと

- ・様々な人々が連携してまちづくりに取り組むこと
- ・地域の歴史や文化、英知を大切にし、人権を尊重し、世代を超えたつながりをもつこと
- ・市民自身が、自分たちの地域を自分たちで良くしていこうという主体性を持つこと

古賀みらいオータムミーティングの目的

住んで良かったといえるまちの実現のために、古賀市まちづくり基本条例の内容について検討する中で気付いたこと


↓

**市民同士の語り合いに
まちづくりのヒントが詰まっている**

↓

語り合いから、まちの未来を創造し、
条例づくりに反映したい

特に話し合いたいこと



今日の参加者・・・

- ①次世代を担う中高生
- ②地域を支える大人たち
- ③これまできっかけがなくて活動していないがまちづくりに興味のある方・・・

同じ古賀に住む市民が日頃考えていることや活動している事など市民同士で情報交換し、これからも安全・安心に暮らしていくために、私たち市民ができることは何か・・・

本日のミーティングの内容を元に・・・


本日の語り合いも参考にして、古賀市まちづくり基本条例素案を作成し、12月頃に市長へ提言します。

↓

古賀のまちの未来について語り合きましょう。

↓

では、いよいよオータムミーティング開始です！



○プログラム紹介【ファシリテーター】

古賀みらいオータムミーティング

プログラム

- 13:50 プチワールドカフェ
- 14:30 自由会議
- 16:15 おわりに
- 16:30 終了

○話し合いの心得【ファシリテーター】

古賀みらいオータムミーティング

話し合いの心得

- 話を否定せずに最後まで聴く
- 自分は正しいと思いたまない
- 答えは一つではないと心得る
- 一人一回一分以内
- 落書きやメモをしましょう！

古賀みらいオータムミーティング

話し合いの心得(子ども向け)

- 正しいことを言う必要はない。
- 感じたことを、思ったことを言う。
- 変だなあと思うことは正直に。
- 大人の顔色を心配しない。

古賀みらいオータムミーティング

話し合いの心得(大人向け)

- 子どもを質問攻めにしない
- 子どもに正解を言わせようとしない
- 考えを押し付けて説教しない。
- 同意を求めない
- 話をちゃんと聴く。

参考：当日使用したパワーポイント資料

古賀みらいオータムミーティング

話し合いの心得 最後に・・・

- 飲食は自由にどうぞ
- トイレも自由にどうぞ
- できれば携帯はマナーモードに

○プチ・ワールドカフェ【ファシリテーター】

古賀みらいオータムミーティング

プチ・ワールドカフェの問い

あらゆる立場の人たちが、古賀市でもっと楽しく幸せに暮らしていくために、どんな工夫をしていけばよいでしょうか。

自分の経験のみを頼りに語ってください。

○自由会議【ファシリテーター】

テーマ

目指したい未来像

私たちが [やれること
やりたいこと]

○閉会のことば【策定委員】

まちづくり基本条例の内容について

私たちが作成している条例の詳細な内容は、会場に冊子を置いています。ぜひ、ご覧になり、ご意見があれば、感想カードにお書き下さい。

そのご意見も踏まえて、策定委員会で話し合いを行い、市長に提言する最終案を決定します。

また、市長に提言後、市で検討し条例原案を作成、市によりパブリックコメントが実施されます（12月ごろ）。ぜひ意見を提出しましょう！！

まちづくり基本条例の内容について

○パブリックコメントとは

市の基本的な政策等を策定する際に、その内容などについて意見などを募集する手続きです。

○意見などを提出できる人

古賀市に住所がある人や、古賀市に通勤・通学している人など

○内容を開覧できる場所

- ・古賀市公式ホームページ
- ・市役所、サンコスモ古賀、リーバスプラザこが中央公民館、リーバスプラザこが図書館、ひだまり館

まちづくり基本条例の内容について

○意見提出方法

住所、氏名、連絡先を明記し、以下の方法により古賀市コミュニティ推進課へ提出（様式自由）

- ・持参
- ・郵便
- ・FAX
- ・電子メール